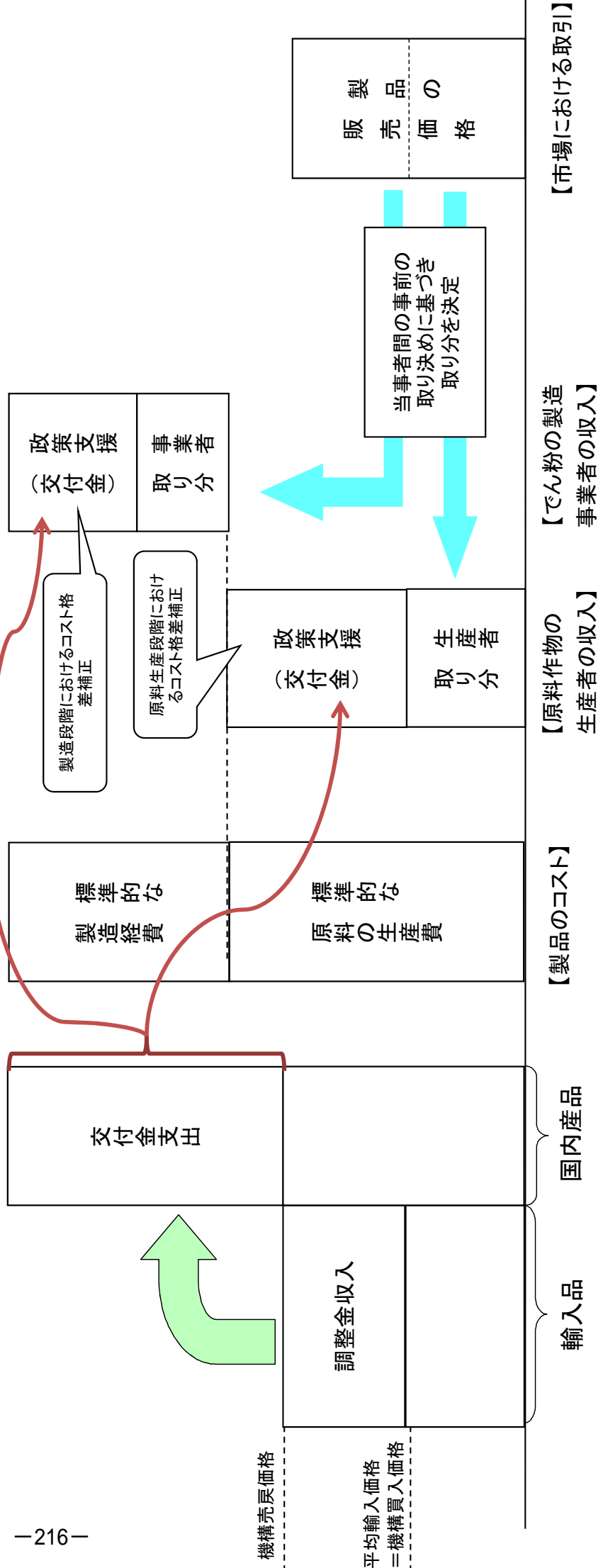


# 10 でん粉に係る経営所得安定対策

## (1) 制度の概要

- でん粉については、価格調整制度の下、コーンスターチ用輸入とうもろこしを原料として製造されるコーンスターチ等と国内産いもでん粉との内外コスト格差を是正するため、
  - ① コーンスターチ用輸入とうもろこし等から調整金を徴収するとともに、
  - ② これを主な財源として、生産者及び製造事業者に対し、生産・製造経費と製品の販売価格との差額相当分の交付金を交付する政策支援を実施している。
- 原料作物の取引価格(販売価格のうち、生産者の取り分)は、生産者と製造事業者との事前の取り決めに基づき、当事者間で決めた比率によって、製品の販売価格を分配する方式(収入分配方式)により形成。



# (2) 経営所得安定対策等の概要(平成26年度概算決定)

## 畑作物の直接支払交付金(ゲタ)

(2,093億円) 【水田・畑地共通】

【販売農家又は集落営農が対象】  
【数量払】

交付単価は品質に応じて増減

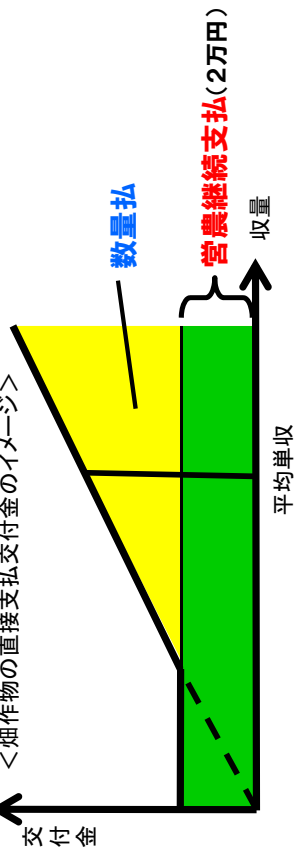
対象作物	平均交付単価
小麦【水田・畑地】	6,320円/60kg
二条大麦【水田・畑地】	5,130円/50kg
六条大麦【水田・畑地】	5,490円/50kg
はだか麦【水田・畑地】	7,380円/60kg
大豆【水田・畑地】	11,660円/60kg

注1:小麦については、パン・中華麺用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算  
注2:てん菜の基準糖度は、16.3度  
注3:てん粉原料用ばれいしよの基準でん粉含有率は、19.5%

## 前年産の生産面積に基づき交付

2万円/10a(そばについては、1.3万円/10a)

<畑作物の直接支払交付金のイメージ>



## 米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ)

(751億円)

【認定農業者又は集落営農で一定の経営規模を有すること等が要件】

◇ 米、麦、大豆、てん菜、てん粉原料用ばれいしよを対象に、収入額の合計が標準的収入額を下回った場合は、減収額の9割を補填(対策加入者と国が1対3の割合で拠出)

## 直接支払推進事業等

(103億円)

◇ 【推進補助金等】(92億円) 対策の運営に必要な経費を措置するとともに、対策の推進、作付面積の確認等を行う都道府県・市町村等に対して、必要な経費を助成等  
◇ 【再生利用交付金】(10億円) 畑の耕作放棄地を解消し、麦、大豆、そば、なたねを作付けた場合に、一定額(2~3万円/10a)を交付(26年度限り)

## 水田活用の直接支払交付金

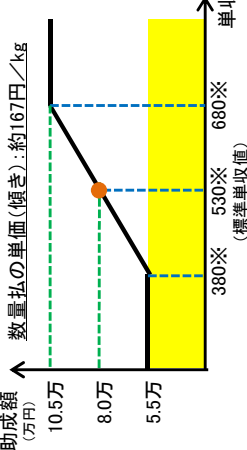
(2,770億円)

【販売農家又は集落営農が対象】  
【戦略作物助成】

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円/10a
WCS用稲	8.0万円/10a
加工用米	2.0万円/10a
飼料用米・米粉用米	収量に応じ、5.5万円~10.5万円/10a

注:そば・なたねは、産地交付金からの交付に変更

<飼料用米・米粉用米の交付単価のイメージ>



注1:数量払による助成は、農産物検査機関による数量確認を受けていることが条件  
注2:※は全国平均の数値であり、各地域への適用に当たっては、当該地域に応じた単収(配分単収)を適用

【二毛作助成】1.5万円/10a 【耕畜連携助成】1.3万円/10a

## 産地交付金

◇ 地域が策定する「水田フル活用ビジョン」に基づき、①水田における麦、大豆等の生産性向上等の取組、②地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援。

## 米の直接支払交付金

(806億円)

7,500円/10a

【米の生産数量目標を守った販売農家又は集落営農が対象】

◇ 激変緩和のための経過措置として、26年産米から単価を7,500円/10aに削減した上で、29年産までの時限措置として実施(30年産から廃止)

## 米価変動補填交付金

(200億円(25年産))

【25年度に米の直接支払交付金の交付を受けた者が対象】

25年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合、その差額を補填

◇ 26年産から廃止

## 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)

諸外国との生産条件の格差により不利がある国産農産物（麦、大豆等）について、引き続き生産コストと販売額の差に相当する額を直接交付します。

### (1) 交付対象者

26年産は、予算措置により引き続き全ての販売農家、集落営農を対象に実施します。  
※ 27年産からは、法整備を経て、認定農業者、集落営農、認定就農者を対象に実施する予定です（いずれも規模要件は課しません）。

### (2) 支払方法

支払いについては、数量払を基本とし、面積払(営農継続支払)をその内金として支払います。

### (3) 数量払

#### ① 交付対象数量

麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ、そば、なたねの当年産の出荷・販売数量

#### ② 交付単価(全国一律)

全算入生産費をベースに算定した「標準的な生産費」と「標準的な販売価格」との差額分を単位数量当たりの単価で直接交付します。また、品質に応じて単価を設定します。  
※営農継続支払を受けた方には、その交付額を控除して支払います。

### (4) 営農継続支払

#### ① 交付対象面積

麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ、そば、なたねの生産面積

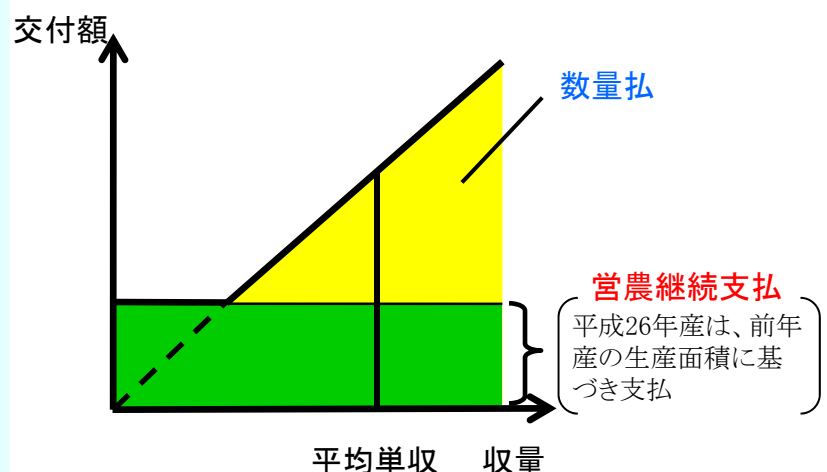
26年産は、従前どおり前年産の生産面積(前年産の生産数量を都道府県別の前年産の実単収で割り戻した面積)に基づき支払います。

27年産からは、当年産の作付面積に基づき支払う予定です。

#### ② 交付単価

2.0万円 / 10a  
(そばについては1.3万円/10a)

#### 数量払と面積払(営農継続支払)の関係





## (3)でん粉調整基準価格・指定でん粉等調整率の推移

単位:円/トン、%

	でん粉調整 基準価格	指定でん粉 等調整率
19SY	141,010	6.493
20SY	144,390	6.581
21SY	141,990	7.089
22SY	142,280	7.337
23SY	145,940	5.647
24SY	145,780	5.382
25SY	148,170	5.099
26SY	150,600	5.682

資料:地域作物課

## (4)平均輸入価格・調整金単価の推移

単位:円/トン

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	加重平均
19SY	平均輸入価格	51,670	56,140	64,370	71,980	61,606
	調整金単価	5,801	5,511	4,976	4,482	5,156
20SY	平均輸入価格	78,410	61,860	50,890	53,160	60,808
	調整金単価	4,342	5,431	6,153	6,004	5,505
21SY	平均輸入価格	46,090	48,680	49,370	50,170	48,733
	調整金単価	6,798	6,615	6,566	6,509	6,611
22SY	平均輸入価格	48,550	54,590	59,300	61,530	56,317
	調整金単価	6,877	6,434	6,088	5,925	6,307
23SY	平均輸入価格	61,780	58,240	59,790	58,480	59,413
	調整金単価	4,753	4,952	4,865	4,939	4,886
24SY	平均輸入価格	67,210	67,190	72,630	73,590	70,349
	調整金単価	4,229	4,230	3,937	3,885	4,061
25SY	平均輸入価格	68,390	64,330	66,600	68,040	66,778
	調整金単価	4,068	4,275	4,159	4,086	4,150

資料:地域作物課

(5) 交付金単価の推移

	でん粉原料用ばれいしよ		でん粉原料用かんしよ (区分Ⅰ)	国内産いもでん粉	
	固定払い	成績払い		ばれいしよでん粉	かんしよでん粉
	円/10a	円/トン	円/トン	円/トン	円/トン
19年	37,030	3,650	25,960	15,938	22,110
20年	37,030	3,650	25,960	17,253	26,771
21年	37,030	3,650	25,960	14,608	25,293
22年	37,030	3,650	25,960	18,613	38,999
23年	(20,000)	11,600	26,000	18,152	28,549
24年	(20,000)	11,600	26,000	16,419	24,329
25年	(20,000)	11,600	26,000	16,113	24,590
26年	(20,000)	12,840	26,000	15,570	31,730

資料：地域作物課

(注)原料農産物に対する交付金は年産ごと、でん粉に対する交付金は販売したでん粉年度ごとの単価である。

(6) 糖化用国内産いもでん粉及びでん粉原料用いも販売価格の推移

単位：円/トン

	糖化用国内産いもでん粉 販売価格	でん粉原料用ばれいしよ 販売価格	でん粉原料用かんしよ 販売価格
19SY	59,930	6,641	6,060
20SY	62,406	6,994	8,018
21SY	51,508	5,153	9,190
22SY	55,136	5,801	9,680
23SY	62,227	7,363	7,683
24SY	70,347	8,890	8,547
25SY	67,930	8,287	10,145
26SY			12,030

資料：地域作物課

注1：でん粉原料用いも販売価格は、年産ごとの価格で消費税込み額である。

注2：でん粉原料用かんしよ販売価格は、売渡契約価格である。

## (7)調整金徴収対象数量の推移

単位:トン

	とうもろこし	でん粉
19SY	3,551,350	120,041
20SY	3,392,748	127,361
21SY	3,282,820	121,779
22SY	3,573,643	135,431
23SY	3,393,085	132,993
24SY	3,320,632	132,381

資料:農畜産業振興機構

## (8)交付金交付対象数量の推移

単位:トン

	でん粉原料用いも		かんしょ	国内産いもでん粉	
	ばれいしょ			ばれいしょでん粉	かんしょでん粉
	対象数量	対象比率			
19SY	980,389	0.624	145,279	116,523	38,690
20SY	929,463	0.551	148,614	121,830	45,677
21SY	799,522	0.459	166,050	85,379	46,126
22SY	685,565	0.447	146,575	73,470	50,145
23SY	727,435	0.614	148,741	87,481	39,242
24SY	772,607	0.585	125,571	98,323	39,030
25SY	762,795	0.614	135,817	111,200	39,433

資料:経営局経営政策課、独立行政法人農畜産業振興機構

(注)当該年度内に交付決定されたものの数量であり、国内産いもでん粉については原料いもの年産ごとの生産量とは整合していない。

## (9) 指定でん粉等調整金徴収額の推移

単位:円

	コーンスターチ用 とうもろこし	でん粉	計
19SY	12,450,783,383	620,176,570	13,070,959,953
20SY	12,698,611,015	702,487,207	13,401,098,222
21SY	14,757,797,058	805,254,563	15,563,051,621
22SY	15,329,916,374	850,225,971	16,180,142,345
23SY	11,273,368,706	650,102,949	11,923,471,655
24SY	9,164,809,345	538,811,479	9,703,620,824

資料: 農畜産業振興機構

## (10) かんしょ生産者交付金交付額の推移

単位:円

	かんしょ
	でん粉原料用いも 交付金
19SY	3,771,180,434
20SY	3,857,256,382
21SY	4,309,845,587
22SY	3,804,940,670
23SY	3,867,033,293
24SY	3,264,587,091
25SY	3,531,002,024

資料: 農畜産業振興機構

## (11) 事業者交付金交付額の推移

単位:円

	ばれいしょ でん粉	かんしょ でん粉	計
19SY	1,857,148,584	855,429,813	2,712,578,397
20SY	2,077,631,622	1,200,090,375	3,277,721,997
21SY	1,278,016,139	1,170,512,462	2,448,528,601
22SY	1,322,365,774	1,911,598,569	3,233,964,343
23SY	1,590,626,272	1,166,763,600	2,757,389,872
24SY	1,646,114,488	990,203,274	2,636,317,762

資料: 農畜産業振興機構